

総人口	38,968人
男	19,354人
女	19,614人
(昨年同月)	+312人)
世帯数	9,959戸
(昨年同月)	+135戸)



としておくとべんりです。

美濃加茂市民憲章

私たちは豊かき水と緑の豊かな美濃加茂市を誇り、
流れのよきにむけ、けつと未来をもち、美濃加茂
の市民です。

私たちは、美濃加茂市を愛し、たけなわ、あきらめ、
ひとりの心、愛、とめ、美濃加茂市を愛します。

一 健康で、働き、心、か、く、家庭をつくらします。

一 まさきに、守り、たけなわ、あきらめ、助けあ、住人
よいまちをつくらします。

一 自然を、い、環境を、と、め、く、つ、の、ゆた
かなまちをつくらします。

一 夢を、もち、正しく、強く、生、き、美濃加茂の
育、つ、まちをつくらします。

一 教養を、深い文化を、奉、り、高いまちをつ
くらします。

強い連帯、固いきずな

炎天下のなか開かれた
第24回市消防操法大会で
第2分団が総合優勝しま
した。

団員各自の技術の向上
と士気の高揚が図られ今
後の消防活動に生かされ
ます。

なお、自動車ポンプの
部、第1分団1班、小型
動力ポンプの部、第2分
団2班が優勝しました。

市民の広場

24日 伊深連絡所

9時~12時

市長と気軽に
話してください。

スタート

あなたの意見を求めます

せるた
め、市民意
識調査および論
文集集を行い、
みなさんの意見を
求めています。

美濃加茂市の将来の方向づけとなる「第二次総合計画（二次総）」が、スタートします。
昭和四五年に策定した「八美濃加茂市マスタープラン」は、社会情勢の変化による見直しが必要とされ、今年度から二ヶ年計画で二次総を策定することになりました。
八月からこの計画に市民の声を反映させるため、市民意識調査および論文集集を行い、みなさんの意見を求めています。

一次総の見直し

美濃加茂市の将来の新しい都市像を求めた「二次総」がスタートしました。
昭和四四年に策定した「美濃加茂市総合計画（一次総）」は、大規模プロジェクトを中心とした国の全国総合開発計画（昭和四四年）を受けて、策定したものです。

その内容は、「水と潤和した明るい生活・豊かな都市」を求め、中濃地域の根幹都市をめざしてきました。

しかし、この一次総も一〇年を経過する現在、さまざまな諸情勢の変化により、将来構想に新たな問題がなげかけられています。
昭和四八年のオイル・ショック

以来、日本の経済基調の変動による住民の意識変化・価値感の多様化する中で、計画の見直しの必要性が生じてきたわけです。

メモ

一次総

- S40・マスタープラン策定指示（市長）
- S41・資料収集、策定方針検討
- S42・基礎調査完了・基本計画策定開始
- S44・基本構想策定・マスタープラン策定完了



▲ 上空から見た市街地

目標年次65年
市民と考える
共に進める

新しい都市像を求めて



二次総とは

国では、昭和五十二年に三全総（定住構想）を策定、これを受けた果が三次総（みどりの連帯社会）を策定しました。

市では、これらの上位計画を受けると共に、中濃地域の中核的役割をはたすための独自の総合計画を考へることになったわけですから、目標年次を昭和六十五年

に定め、とりあえず五十四年と五十五年の二カ年をビジョン施策の策定期間とし、具体的な施策をする基本計画を五十六年から六十五年の一〇カ年計画とするものです。

市民参加の

二次総づくり

策定にあたり、市民と考える市民と共に進める「二次総づくり」をテーマにする市では、現在、行っ

ている「私と市長のはがき」市民の広場」などの市民志向の取り組みに加えて、今後、市民参加の二次総は、将来の市政の指針として大きな役割を果たすことになり

皆さんと共に考えていきます。今後、市民参加の二次総は、将来の市政の指針として大きな役割を果たすことになり

みなさんのご理解ご協力をお願いします。

市民意識調査

この調査は、市内全世帯を対象に家族のどなたかを選挙人名簿から抽出し、「住んでいる地域の住みごころ」など、日頃、感じていること、望んでいることをお聞きして、これからのまちづくりに取り入れようとするもので、将来の住みよいまちづくりの基礎になるものです。

▷時期 8月中旬ごろから

▷対象 全世帯

▷方法 自治会を通じて配付

論文募集

これからのまちづくりは、市民のみなさんと行政が一体となり、みんなで考え共に進まなければなりません。

こうした中において市では、みなさんの声を市政に反映するため「あすの美濃加茂市に望むもの」など、みなさんの個性に満ちた提案、積極的なご意見を求めています。

募集要項は、次のとおりです。ふるって、ご応募ください。

	一般（大学生も含む）	中学・高校生
テーマ	「あすの美濃加茂市に望むもの」 「私はこんな美濃加茂市に住みたい」	「私ならこんな美濃加茂市に住んでみたい」 「10年後の私たちのまちは」
資格	市内在住・在職の方	市内在住・在学の方
枚数	400字詰め原稿用紙で10枚以上（一般・大学生）	
締切日	昭和54年9月14日	
送付先	美濃加茂市役所企画開発課	
入選	入選1編、佳作3編、参加賞（各部門別）	
発表	市報に掲載	
その他	- 応募作品は自作の未発表のものに限ります。 - 応募作品には、必ず住所・氏名・年齢・性別・職業、中・高校生は氏名・性別・学校名・学年を明記して下さい。 尚、作品はお返しいたしません。作品の著作権は美濃加茂市に属することにいたします。	



夢さそう

着工
54年7月完成
55年11月

文化センター

文化都市をめざす市では、市立図書館オープンに引き続き、待望の（仮称）美濃加茂市文化センターの建設に着手しました。

快晴の七月五日高橋市長をはじめ関係者百余名が列席し起工式が行われ今後の工事の無事を祈りました。

文化の拠点となる同センターのオープン予定は、来五年一月三日「文化の日」、夢をのせて現在、力強く工事が進んでいます。

建設場所は、国道二一号線の太田橋下流約五百メートルのところ（島町二丁目字抜戸地内）で、広さ一万二千平方メートル。同地は古くは安藤広重画の中仙道太田宿渡し場があったといわれる由緒ある地、近くには官庁が林立し国定公園内の一隅で木曽川の清流をのぞむ環境抜群なところ。

永年の懸案であった同事業は、総事業費一億円余をかけ、鉄筋コンクリート三階地下一階の大規模なもので八百席を有するモダンな大ホール（舞台・楽屋）、音楽や踊りなどのできる練習室、落ちついた会議・研修室などフレキシブルな感覚あふれるもの。同施設により、活動の場がなく、とくに低層しがちだった文化活動に希望を与えるものと市民のみなさんの期待が高まっています。



▲ 現在工事中



▲ 完成予想図

アンケート調査

加茂野地区の公民館活動に関する住民意識調査を市社会教育課がこのほどまとめた。

これは、今年二月に調査したもので回収率七二％で、回答者の職業は会社員三四％、自営業一五％、兼業農家一〇％となっています。

現在の関心事は、一位健康三〇％、二位子供の教育二四％、経済問題一四％となっています。

今後の公民館活動に参加意欲のある方が半数以上の五三％をしめ、その中で希望する活動は、趣味（民謡・詩吟・生花・茶）などの文化教養的なもの、学習的（一校教養）技術講習会の順になっています。

こうした一地区のアンケートの結果からも、文化活動に対する期待の高まりがうかがえます。

公民館活動
盛りあがる

文化委員

蜂屋地区にできた文化委員会（委員長 岩田昭）が、ユニークな活動を展開し注目されています。

同会は昨年秋ごろに自治会の人から体育委員によって体育が振興したのに対し、文化委員を作り文化を高めたの……との声が上がったのがきっかけ。

昨年二月、市ではじめて結成され、各自治会男女二名ずつの委員で構成、現在三〇名。

会の方針は、草の根文化の掘り起こしを主眼に、あくまで活動は各自治会単位が中心。ただし、講座や大きな活動は連絡所オーブンのほかに地区文化祭の予定もある。

このほどまとまった同地区文化活動意識調査は、文化意欲の高まりを強くしめし、文化センターへの夢をふくらませている。

市内各地域で、公民館活動が高まっています。

蜂屋地区では、文化委員会ができ、加茂野地区においては、アンケート調査の結果、公民館活動への高まりがみられ、文化センターにつながるものと期待されます。

7月定例会

老人陶芸作業場を建設

為岡遺跡発掘調査費きまる

市議会第二回定例会は、七月二十三日から二十七日まで五日間開催され、提出10案件（議案六、報告二、承認一）のうち、今年度一般会計補正予算や、国民健康保険条例の一部改正、市非常勤消防団員にかかる退職年金の支給に関する条例の一部改正などの案件が原案のとおり可決承認しました。

また、昭和五十三年度美濃加茂市水道会計決算認定については、開会中の継続審議として建設常任委員会に付託となりました。

助産費が八万円

国民健康保険条例の一部が改正され、助産費の支給額が六万円から八万円、葬祭費の支給額が一万円から二万円にそれぞれ引き上げられました。

また、保険料の賦課限度額が十九万円から二十二万円、同時に低所得者に対する保険料減額対象額が十六万円から十五万六千円に引き上げられました。

補正予算一億六千万円

を可決

昭和五十四年度一般会計補正予算の総額は、専決処分を含み一億六千二百二十四万二千円になり、今

年度の予算総額は六十五億千六百四十二万円になりました。

老人の生きがいと

創造事業を推進

▽補正された主な事業は次のとおりです。

- ・老人の生きがいと創造事業として、老人陶芸作業場建設工事費百六十一万二千円、これにかかる委、ろくろの備品購入費として三百七十九万円など合わせて六百四十二万三千円
- ・すでに発掘調査を終えた今遺跡に引き続いて、建設中の県道可児・七宗線にかかる為岡遺跡の発掘調査費として、調査員賃金など六百七十七万円

消費生活モニター

消費生活に関する苦情や要望がありましたら、次のモニターまでお知らせください。

- ・長野フサ 新池町三二一三 電話⑥二二五八
- ・三輪玲子 古井町下古井 電話④〇九四一

募集します

市史の申し込みは早めに

市史通史編の予約申し込みは、七月末日まででしたが、お忘れになった方は、至急申込書を市史編さん室までお送りください。

発明くふう展に出品を

発明協会美濃加茂支会では、来る九月二二日正午より二四日まで中央公民館にて「第二回発明くふう展」を開催します。そので、次により多数、出品してください。

- ・作品 日常生活にしている家庭用品、学習用具などに新しいアイデアや工夫を取り入れ更に使いやすとした物
- ・出品者 市内小中学校児童生徒、徒、教員、一般、家庭婦人
- ・作品の規格 縦、横、高さともに一〇以内、重さ二〇以内（一人一点）

産業祭に出品を

「豊かな自然環境と、活力ある産業都市を目ざして」をテーマに第二回市産業祭が、十一月十日と十一日の二日間中濃体育館及び市農協で開かれます。

つきましては、昨年同様、出品を募集しますのでご協力ください。

くわしくは市農工観光課まで。

省エネルギーに提案を

経済企画庁では、暮らしの中の省エネルギーについての具体

的提案を次により募集します。ので、九月八日までにお寄せ下さい。

- ・資格 市内居住者
- ・枚数 四百字詰原稿用紙五枚程度

③ 原稿は横書にし、左肩を必ずとし、末尾に氏名、住所、電話、職業、年令明記

提出及び問い合わせは、市農工観光課まで。

自治会親善野球大会

第一二回自治会親善野球大会を開きます。参加希望のチームは、所定の申し込み用紙に所属自治会長の記載証明を受けて、八月一日までに中濃体育館体育課まで提出してください。

なお、各町の連絡所へ提出する場合、一〇日午前までに。くわしくは、中濃体育館まで。

中濃体育館だより



月	日	曜	日	行	事
8	1	水	太田地区法令講習会		
	2	木	体育指導委員会		
	3	金	美濃太田電気区バレー		
	5	日	県知事杯家庭バレー可茂地区大会		
	6	月	岐阜県神楽町東濃ブロック大会		
	7	火	太田小親子レクリエーション		
	9	木	はつらつ親子スポーツクラブ		
	12	日	加茂野町自治会親善バレー大会		
	15	水	グラウンド調整会		
	17	金	西島一子供スポーツ会		
	18	土	県高校総合体育大会 (18・19日)		
	19	日	自治会野球代表者大会		
	20	月	中濃地区保母研修会		
	23	木	美濃加茂市商工会講習会		
	26	日	休日体育館で		
	27	月	自民党美濃加茂市支部大会		
	28	火	学校開放調整会		
	30	木	おやこ劇場		

休館日 8・22日 (第2・第4水曜日)

おしらせ

- 夜間の利用がたいへん多くなってきました。そこで、ゆっくり体力づくりが出来る昼間のご利用を、おすすめします。



▲美しいコサギ

アマサギは、コサギぐらいの大きさで頭部より首にかけて赤黄色をして他は純白の美しい鳥です。この地方ではシラサギと呼ばれ全身が純白をしています。このシラサギの中には、ダイサギ、チュウサギ、コサギと大きさによって分けられ、コサギが一番多く見られます。

コサギは雌雄同色で翼長が二七センチぐらいと小型の鳥です。湿地帯であれば、小川、水田、池など、どこにでも年中見ることが出来ます。繁殖期には後頭部に二―三本の長い羽毛があり、背から尾に達する美しいみの毛が生じます。眼を囲む部分の皮膚は裸出し黄白色です。くちばしと脚は黒く、趾は黄緑色です。

六―七月にかけて数羽から十羽ぐらいの小群をなし、田植後の水田でエサとなる、カエル、オタマジャクシ、ザリガニ、小魚などを追い回すため、苗を踏んだり田から飛び立つ時に翼で花穂を揺るなど農家の人々には歓迎されない鳥です。

自然を
たずねて
サギ

(4)

市内で見られるサギ類には、サギ、ゴイサギ、アオサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギなどで、ゴイサギは幼鳥と成鳥では別の鳥のようにちがって見えます。アオサギは日本最大のサギで翼長も四五センチもあります。

繁殖期には後頭部に二―三本の長い羽毛があり、背から尾に達する美しいみの毛が生じます。眼を囲む部分の皮膚は裸出し黄白色です。くちばしと脚は黒く、趾は黄緑色です。

幸せで明るい家づくりは、まず健康から。三〇才をすぎたら年に一回は成人病検診をうけましょう。

成人病検診を

今月の相談	
妊婦学級	9・23日 1:30/4時 中央公民館
育児相談	9月7日 下古井公民館 9:30/11時 (53年12月生) 1:30/3時 (54年6月生) 一才半幼児検診 24日 1:30/2時 産業文化会館 9月11日 53年1月生 産業文化会館
乳児検診	10月1:30/2時 産業文化会館
今月の街頭献血	・とき 23日 10/3時30分 ・ところ名鉄ショッピングC前
成人病相談	28日 9/11時 山之上連絡所 高令者無料職業紹介 8日 1/3時 市福祉事務所 第二相談室
心配ごと相談 (秘密厳守)	

今月の相談

今月の納期	
8月31日限り	市民税 (2)
	国民健康保険 (4)
8月20日限り	国民年金 (2)

③医師会立総合保険センター
次のおとり健康診断の機会をもうけますので、希望者は八月二〇日から三〇日まで、くわしくは、市環境衛生課健康係まで。

・とき 九月下旬又は一〇月上旬
・ところ①健康院 (マイクロス)
で受診します。

毎週水曜日1/4時 中央公民館
※第3水曜日は、御薬法務局
専門係官の出張相談日です。
結婚相談 (秘密厳守)
毎週土曜日1/4時 産業文化会館
うけましよう